GPA 制度の導入について

GPA 制度の目的

本学では 2019 年度から、成績評価方式「GPA」（Grade　Point　Average）制度を導入します。成績を数値化することで、学習効果を客観的に把握することができます。修得単位数という「量」だけではなく、成績の伸びなど学習状況の「質」を判断できる指標を提供することにより、学生の学習意欲の向上や学習計画などの自己管理に資するとともに、厳格な成績評価を推進することを目的としております。

●成績評価に対するGP（グレート・ポイント）

評　価	学生が各授業科目で得た成績	G　P
S	90 点　～ 100 点	4
A	80 点　～　89 点	3
B	70 点　～　79 点	2
C	60 点　～　69 点	1
D	59 点以下（不合格）	0

※再試験で合格の評価は、すべて「C」評価となります。

GPA の算出方法

（評価を受けた授業科目の GP　×その科目の単位数）の合計／評価を受けた科目の単位数の合計

※ GPA の最高値は 4.00 となります。

● GPA の算出例

授業科目	評　価	GP (a)	単位数 (b)	a × b
○○学	B	2	2	4
□□概論	S	4	2	8
△△基礎論	A	3	1	3
◎◎演習	C	1	1	1
◇◇学（選択）	D	0	1	0
計			7	16

分子	〈評価を受けた授業科目のGP（a）× その科目の単位数（b）〉の合計＝ 16
分母	評価を受けた科目の単位数の合計＝ 7

GPA ＝ 16 ／ 7 ＝ 2.29

（小数点第3位を四捨五入）

S 評価が多いと GPA は高くなり、逆に C 評価が多くなると GPA は低くなります。特に D 評価があると GPA に大きな影響があることに注意してください。

上記算出例で、仮に「◇◇学（選択）」が S 評価であったら 4 ポイントが追加されるので、GPA ＝ 20 ／ 7 ＝ 2.86 となります。